

No	施策名	事務事業の目的	H30決算額(円)	事務事業評価		事務事業の現状・課題	令和元年度中に実施した課題解決や事務改善に向けた取組の成果	令和2年度以降の課題解決に向けた取組方針(今後3~5年程度をイメージ)
	事務事業コード		内 直接事業費	1 担当部課名				
	事務事業名		R1決算額(円)	2 評価責任者氏名	3 妥当性評価			
			内 直接事業費	4 有効性評価	4 有効性評価			
			内 人件費	5 効率性評価	5 効率性評価			
1	交通基盤の整備	各種協議会と連携し、幹線道路等の渥美半島での必要性の認識を高め、地元・関係機関と相互に協力、調整をとりながら整備の早期実現を図る。	29,481,411	事務事業評価		広域幹線道路の現状を把握するため、調査・研究としての研修会や現地視察を実施する。関係市町、関係機関、市内関係部署との連携を密にし、広域幹線道路の早期整備に向けた計画確立が課題。	各種協議会・期成同盟会等により、国・県等に早期整備の要望を行った。	渥美半島における広域幹線道路について、研究を重点的に行うと共に、その他各種協議会・期成同盟会の活動等により、国・県等への要望活動を行い早期実現を目指す。
	40101010		1,118,289	1 都市建設部 建設課				
	広域幹線道路整備促進事業		28,363,122	2 村上 知成				
			24,549,481	3 極めて高い				
			982,686	4 極めて高い				
	23,566,795	5 普通	改善の効果	高い				
2	交通基盤の整備	市民生活や産業活動において重要な都市基盤である市内幹線道路の道路交通における利便性、安全性、快適性等の向上を図るため計画的な整備を行う。	242,175,101	事務事業評価		交通量が多く交通弱者安全確保が急務且つ国土強靱化を図る上で機能確保が必須である1・2級市道は、国費補助等を活用しながら集中的・計画的に道路改良を推進する必要がある。田原市道路整備プログラムに基づき整備対象路線の優先路線の整備を推進する。	5路線の整備進捗を図り、3路線の歩道の延伸、一部供用を開始した。また、臨海部の渋滞解消に向けた調査分析及び結果に基づく愛知県整備要望を行い、4車線化整備着手に導いた。	公共施設整備に係る周辺道路整備の着実な推進を図る。また、課題解消に向けた道路整備プログラム整備により国土の強靱化を推進する。
	40102010		215,170,563	1 都市建設部 建設課				
	幹線道路整備事業		27,004,538	2 村上 知成				
			258,951,185	3 極めて高い				
			219,756,498	4 極めて高い				
	39,194,687	5 高い	改善の効果	極めて高い				
3	交通基盤の整備	老朽化した橋りょうや河川の改修に伴う橋りょうの改修を行い、地域の道路網の安全性・信頼性を確保する。	13,189,416	事務事業評価		道路・河川の拡幅整備及び老朽化への対応に伴い、橋りょうの架け替えが必要となっている。迂回路や整備ヤードなど施工計画を策定し、関係者協議など綿密な準備の上で長期の交通規制を伴う施工が必要であり、事業着手時には集中的且つ連続的な投資が必要となる。	老朽化した橋りょうの架け替えに伴う関係者協議及び施工計画検討に取り組んだ。	橋りょう整備に伴う、迂回路、整備期間について、関係者と綿密に調整を行うことにより、交通の混乱を避けながら計画的な事業の進捗を図る。
	40102020		6,795,960	1 都市建設部 建設課				
	橋りょう整備事業		6,393,456	2 村上 知成				
			884,231	3 極めて高い				
			0	4 極めて高い				
	884,231	5 普通	改善の効果	極めて高い				
4	交通基盤の整備	愛知県が実施する公共事業に必要な事業用地の円滑な取得を図る。	6,150,810	事務事業評価		事業用地の円滑な取得を図るため県用地課と連携を強化し、交渉期間の短縮を図る。県の用地取得予算の確保が困難であり、事業間で調整することで予算執行できるようにする。	事業間の調整等について、県用地課と連携を強化して当初予算分の予算執行ができた。	県用地課との連携を強化することにより、主要地方道豊橋渥美線、都市計画道路田原中央線等における事業用地の円滑な取得を図る。県の用地取得予算の確保と事業間での調整がスムーズに執行できるようにする。
	40102030		2,682,006	1 都市建設部 建設課				
	事業用地取得事務(国県道)		3,468,804	2 村上 知成				
			2,767,445	3 高い				
			332,521	4 高い				
	2,434,924	5 普通	改善の効果	普通				
5	交通基盤の整備	安心・安全な生活環境の改善を図るため、地域からの要望をもとに、緊急性、事業効果等を考慮して必要性の高い生活道路から整備を行う。	102,882,224	事務事業評価		道路整備計画の実施により、地域からの多くの改良要望需要に対し適切な評価に基づいた計画的な対応が必要である。	有効に財源を活用し、事業進捗を図った。また、緊急車両の円滑な通行や防災・減災など新たな社会事情を鑑み、生活道路の整備を行い、生活環境の改善を図った。	地域からの要望について、整備優先順位の評価基準に基づき優先度を検証し、計画性を高めた投資と効果の早期発現を目標に、予算規模と整合を図った計画立案を行う。
	40103010		82,505,360	1 都市建設部 建設課				
	道路改良事業		20,376,864	2 村上 知成				
			116,575,700	3 極めて高い				
			97,859,010	4 極めて高い				
	18,716,690	5 普通	改善の効果	極めて高い				

No	施策名	事務事業の目的	H30決算額(円)	事務事業評価		事務事業の現状・課題	令和元年度中に実施した課題解決や事務改善に向けた取組の成果	令和2年度以降の課題解決に向けた取組方針(今後3~5年程度をイメージ)
	事務事業コード		内 直接事業費	1 担当部課名				
	事務事業名		R1決算額(円)	2 評価責任者氏名	3 妥当性評価			
			内 直接事業費	4 有効性評価	4 有効性評価			
			内 人件費	5 効率性評価	5 効率性評価			
6	交通基盤の整備	歩行者・自転車等利用者の安全確保、歩行者・自転車空間の快適性の向上及び円滑な自転車交通の確保を図るため、歩道設置等の交通安全施設整備を行う。	74,225,533	事務事業評価		平成24年度緊急合同点検対策の整備可能箇所への対応が完了。引き続き通学路交通安全推進協議会からの危険指摘箇所を優先的に検証し、安全対策を早期に確実に実施する必要が求められる。また、自転車活用に関する法施行に伴い環境整備への対応要求度が高まっている。	通学路、公共施設周辺の道路整備を推進。滋賀県大津市の事故に端を発する交差点の緊急安全対策整備を愛知県と連携して実施した。また、自転車活用推進協議会を運営し、計画(案)作成を行うなど、大きく事業展開を図った。	交通安全プログラムの早期実行により、通学路の安全確保に努める。 自転車ネットワーク路線を可能な限り国費補助等を活用し計画的に整備する。
	40103020		62,808,570	1 都市建設部 建設課				
			11,416,963	2 村上 知成				
	交通安全施設整備事業		112,036,000	3 極めて高い				
			89,784,832	4 極めて高い				
		22,251,168	5 高い					
						改善の効果	極めて高い	
7	交通基盤の整備	道路交通の安全確保及び快適性の向上を図るため、未舗装道路の舗装新設及び老朽化した道路の舗装改築を行う。	63,625,503	事務事業評価		舗装設計期間10年を大幅に超えた多くの昭和年代築造道路は、交通量にかかわらず経年劣化・老朽化が著しく、大幅な改修を必要とする路線が多くなっている。1級市道は路面性状調査の結果を受け、12路線の舗装改修が必要である。	1級市道の快適性向上に向けて取り組んだ点検・改修計画に基づき、国費補助等を充てて重点的に整備を進めた。	舗装長寿命化修繕計画に基づく確実な整備推進を図る。
	40103030		60,349,240	1 都市建設部 建設課				
			3,276,263	2 村上 知成				
	道路舗装事業		44,708,344	3 極めて高い				
			41,608,080	4 極めて高い				
		3,100,264	5 極めて高い					
						改善の効果	極めて高い	
8	交通基盤の整備	安心・安全な生活環境の改善を図るため、道路の排水改良等の局所的な整備を行う。	11,353,601	事務事業評価		排水施設の老朽化に伴う改修や沿道利用用途の経年変化に伴う改良など多くの要望が出され期待されている。	校区要望に上げられた複数の要改善箇所の実現に取り組んだ。	道路整備計画に基づく確実な整備促進を図る。
	40103040		10,259,648	1 都市建設部 建設課				
			1,093,953	2 村上 知成				
	道路局部改良事業		19,200,793	3 極めて高い				
			16,668,160	4 高い				
		2,532,633	5 普通					
						改善の効果	高い	
9	交通基盤の整備	災害時の避難及び救急活動に支障をきたす恐れのある道路について、建物の建設時にセットバックした部分を整備して狭い道路の解消を図る。	5,067,797	事務事業評価		平成25年度に要綱改正をしたことで、迅速に対応できるような事務体制となり、事務の効率性は向上したが、申請件数がそれほど増加していない。	補助制度を広く普及し、利用してもらうことにより、事務の簡素化を図ることができ、住民へ迅速な対応ができた。	トラブルを未然に防ぐことはもとより、境界トラブルの解消について、より迅速に対応できるような事務体制を整える。
	40103050		4,520,820	1 都市建設部 維持管理課				
			546,977	2 中神 嘉彦				
	狭隘道路解消事業		7,100,966	3 高い				
			3,560,659	4 高い				
		3,540,307	5 普通					
						改善の効果	高い	
10	交通基盤の整備	公有地境界を整理することで行政の管理区域が明確となり、境界付近でのトラブルの解消を図る。	17,015,668	事務事業評価		公共用地と民地との境界を測量し、管理区域を明確化することにより、境界トラブルの解消を図ることを目的としているが、用地測量、登記等に多大な時間が必要である。	公共囁託への測量委託を行うことにより、事務の時間が短縮されたため、住民へ迅速な対応ができ、一定の成果が出ている。	トラブルを未然に防ぐことはもとより、境界トラブルの解消について、より迅速に対応できるような事務体制を整える。
	40104010		9,806,637	1 都市建設部 維持管理課				
			7,209,031	2 中神 嘉彦				
	公有地境界確認事務		18,204,223	3 高い				
			11,884,569	4 高い				
		6,319,654	5 普通					
						改善の効果	高い	

No	施策名		H30決算額(円)	事務事業評価		事務事業の現状・課題	令和元年度中に実施した課題解決や事務改善に向けた取組の成果	令和2年度以降の課題解決に向けた取組方針(今後3~5年程度をイメージ)		
	事務事業コード	事務事業名		事務事業の目的	内 直接事業費				1 担当部課名	
			R1決算額(円)							
			内 直接事業費	2 評価責任者氏名						
			内 人件費	3 妥当性評価						
			内 直接事業費	4 有効性評価						
			内 人件費	5 効率性評価						
11	交通基盤の整備	道路法に基づき市道の管理を行い、道路の良好な環境と安全確保に努める。	95,519,835	事務事業評価		常時健全な道路環境を維持するため、老朽化している道路ストックの点検及び計画修繕の実施が課題である。	老朽化により修繕が必要な道路照明灯については、LED化し、電気料金の削減と環境負荷の低減に努めた。	道路ストックの総点検実施及び道路維持修繕計画策定により、要修繕箇所の早期発見、早期対応に努め、健全な道路環境を維持する。道路照明灯のLED化により維持管理コストの軽減と環境負荷の低減に繋げる。		
	40104020		78,383,340	1 都市建設部 維持管理課						
	道路管理事務		17,136,495	2 中神 嘉彦						
	65,898,085		3 極めて高い							
	49,958,688		4 高い							
			15,939,397	5 高い			改善の効果	高い		
12	交通基盤の整備	公共用地の取得や売却等に伴う所有権移転登記等を行い適正な財産管理を図る。	10,805,682	事務事業評価		登記申請に際して、法務局から詳細な資料提出を要求されるため、常日頃から法務局との連携を密にし、業務のスムーズな進捗に努めている。また、専門的知識を要する案件、権利関係等に難題があるような事案については、知識や技術もなくスムーズな対応ができないため委託対応が必要である。	法務局との連携を密にしたことにより登記官との円滑な関係を築くことができ、スムーズな登記申請や補正の対応ができた。	法務局との連携を更に密にし、業務のスムーズな進捗に努める。また、専門的知識を要する案件、権利関係等に難題があるような案件については、委託をすることで早期解決及び業務の円滑な進捗を図る。		
	40104030		40,772	1 都市建設部 建設課						
	登記事務		10,764,910	2 村上 知成						
	11,118,586		3 高い							
	47,190		4 普通							
			11,071,396	5 普通			改善の効果	普通		
13	交通基盤の整備	市道及び公共用物(道路敷)の老朽化又は緊急を要する構造物の修繕及び主要幹線道路の草刈り等を実施し、交通の安全性・快適性の向上を図る。	203,941,941	事務事業評価		緊急的な道路及び道路施設等の修繕を行うとともに、主要幹線道路の草刈を実施し、交通の安全性・快適性の向上に努めている。	通行の安全性・利便性を考慮して、歩道内の植栽帯の撤去を一部実施した。	歩道の植栽帯の撤去、道路敷等の防草対策を計画し、可能な限り実施する。		
	40104040		161,574,476	1 都市建設部 維持管理課						
	道路維持事業		42,367,465	2 中神 嘉彦						
	141,109,481		3 高い							
	105,646,834		4 高い							
			35,462,647	5 普通			改善の効果	高い		
14	交通基盤の整備	道路等の修繕及び主要幹線道路の草刈等を実施し、交通の安全性及び快適性の向上を図る。	62,525,578	事務事業評価		危険箇所の早期発見のため、地域住民からの情報提供に対する初動体制の強化と連絡パトロールの効率化が必要である。	市民及び各校区等からの要望やパトロールで発見した危険箇所について早期対応をし、交通の安全性が図られた。これらの内容について、課内で共有し、対策等の進捗状況について可視化できた。	収集した危険箇所情報や修繕要望等の内容について、必要性を精査した上で優先順位を検討し、安心で安全な道路使用のための施設改善を実施する。		
	40104060		49,603,346	1 渥美支所 地域課						
	道路維持事業(渥美支所)		12,922,232	2 鈴木 雅也						
	57,834,477		3 高い							
	46,892,954		4 高い							
			10,941,523	5 普通			改善の効果	普通		
15	交通基盤の整備	定期点検済みで補修が必要な橋梁等について、修繕計画に基づき修繕工事等を実施し、長寿命化を図る。	31,795,719	事務事業評価		橋梁定期点検を行い、修繕計画に基づき、老朽化した橋梁の修繕を推進するが、修繕対象橋梁数も多く計画どおりに事業進捗が図れない。	国庫補助を利用して、歩道橋の修繕工事を実施、橋梁個別施設維持管理計画を策定し、橋梁長寿命化を推進した。	老朽化している橋梁等については、国庫補助を利用し、維持管理計画に基づいた修繕、また、職員による橋梁定期点検を行うことにより、将来の維持管理コストの削減に努める。		
	40104070		29,461,160	1 都市建設部 維持管理課						
	橋りょう等維持事業		2,334,559	2 中神 嘉彦						
	146,906,795		3 極めて高い							
	138,730,040		4 極めて高い							
			8,176,755	5 高い			改善の効果	高い		

No	施策名		H30決算額(円)	事務事業評価		事務事業の現状・課題	令和元年度中に実施した課題解決や事務改善に向けた取組の成果	令和2年度以降の課題解決に向けた取組方針(今後3~5年程度をイメージ)			
	事務事業コード	事務事業名		事務事業の目的	内 直接事業費				1 担当部課名		
			R1決算額(円)								
			内 直接事業費	2 評価責任者氏名							
			内 人件費	3 妥当性評価							
			内 直接事業費	4 有効性評価							
			内 人件費	5 効率性評価							
16	交通基盤の整備		24,318,185	事務事業評価		<ul style="list-style-type: none"> ・利用者の増加を図る取組が必要である。 ・放置車両が出るようになった。 ・機器の老朽化等により、不具合が出るようになった。 	<ul style="list-style-type: none"> ・2時間無料にしたことにより、利用者は増加した。 ・放置車両への対応を、指定管理者と連携して行った。 	<ul style="list-style-type: none"> ・機械の更新時に併せて放置車両への対策を検討していく。 ・老朽化した機器について、安全に利用できるように順次交換をしていく必要がある。 			
	40106050		21,647,553	1 都市建設部 街づくり推進課					改善の効果	高い	
	公共駐車場管理運営事業		2,670,632	2 小久保 智宏							
			23,681,852	3 高い							
			21,078,983	4 高い							
2,602,869			5 普通								
17	公共交通の整備		53,027,064	事務事業評価		<ul style="list-style-type: none"> ・令和元年10月からコミュニティバスの運行委託契約を交通会議から市へ変更した。 ・令和元年10月の再編実施により、利用人数が増加した。 ・バス車両が老朽化しており、更新が必要となっている。 	<ul style="list-style-type: none"> ・表浜線と高松線を統合し、野田線からサンテバルク線へ変更した。 ・八王子線のコミュニティバス以外の移動手段として、地域と連携した、おもいやりタクシー事業を実施した。 	<ul style="list-style-type: none"> ・老朽化しているバス車両について、順次更新をしていく。 ・表浜線の関係コミュニティ協議会による利用促進会議の設立を検討・実施する。 			
	40201010		48,074,876	1 都市建設部 街づくり推進課					改善の効果	極めて高い	
	コミュニティバス運行事業		4,952,188	2 小久保 智宏							
			62,864,665	3 極めて高い							
			58,977,376	4 高い							
3,887,289			5 普通								
18	公共交通の整備		50,881,826	事務事業評価		<ul style="list-style-type: none"> ・路線バス利用者の減少等により、田原市の補助金の増加が懸念される。 ・伊良湖支線の中間時間帯が少ない。 ・伊良湖本線の路線について、地域(亀山)からの要望によるルート変更及び新規バス停設置を検討する必要がある。 	<ul style="list-style-type: none"> ・田原市の補助金の増加を抑制するため、運行管理の見直し等について運行事業者と検討した。 ・利用者の利便性を高めるため、伊良湖支線を増便した。 ・市政ほーもん講座を実施した。 	<ul style="list-style-type: none"> ・利用者の利便性を高め、補助金の増加を抑制するため、路線や運行管理の見直しについて、運行事業者と検討していく。 ・伊良湖本線の路線について検討し、亀山地区の新たなバス停の設置につなげる。 ・利用者増につなげる講座を地域と連携し開催する。 			
	40201020		50,009,560	1 都市建設部 街づくり推進課					改善の効果	高い	
	地方バス路線支援事業		872,266	2 小久保 智宏							
			51,171,689	3 極めて高い							
			50,009,600	4 高い							
1,162,089			5 普通								
19	公共交通の整備		132,059,956	事務事業評価		<ul style="list-style-type: none"> ・令和元年10月からコミュニティバスの運行委託契約を交通会議から市へ変更した。 ・公共交通利用者増加のため、中学生や高校生、高齢者に向けた利用促進策の展開が必要である。 	<ul style="list-style-type: none"> ・中学生・高校生に向けたパンフレットの作成・配布や、元気バスを中心とした利用促進チラシの作成・配布等を実施した。 	<ul style="list-style-type: none"> ・公共交通会議を開催し、公共交通事業者等と連携した利用促進策を実施し、市内公共交通の維持と充実を図る。 ・地域や地元の高校等と連携した利用促進策を実施していく。 			
	40201030		124,756,303	1 都市建設部 街づくり推進課					改善の効果	高い	
	公共交通推進事業		7,303,653	2 小久保 智宏							
			65,196,858	3 極めて高い							
			59,483,347	4 高い							
5,713,511			5 普通								
20	港湾・河川・海岸の整備		14,857,612	事務事業評価		<ul style="list-style-type: none"> ・良好な港湾施設の維持管理のため、港湾維持修繕計画に基づく計画修繕の確実な実施。 ・また、災害時に樋門操作を迅速に行う体制づくりが課題である。 	<ul style="list-style-type: none"> 指定管理による港湾施設の適正な施設管理を行うことができた。また、樋門操作マニュアルを活用し、適切な管理体制、災害時に迅速な対応ができるよう努めた。 	<ul style="list-style-type: none"> 港湾維持修繕計画に基づき、老朽化した港湾施設の維持管理を行うとともに、港湾利用者が快適に施設を利用できるよう努める。 また、樋門操作については引き続き、職員と受託者との連携を密にし、災害時に迅速な対応ができるよう努める。 			
	40301040		6,656,173	1 都市建設部 維持管理課					改善の効果	高い	
	港湾管理事業		8,201,439	2 中神 嘉彦							
			33,171,853	3 高い							
			27,565,350	4 高い							
5,606,503			5 普通								

No	施策名	事務事業の目的	H30決算額(円)	事務事業評価					事務事業の現状・課題	令和元年度中に実施した課題解決や事務改善に向けた取組の成果	令和2年度以降の課題解決に向けた取組方針(今後3~5年程度をイメージ)				
	事務事業コード		内 直接事業費	1	担当部課名	内 人件費	2	評価責任者氏名				R1決算額(円)	3	妥当性評価	内 直接事業費
21	港湾・河川・海岸の整備	排水能力不足による水害の発生を防ぐため、住民の生命・財産を守るうえで重要な河川を優先して整備する。	49,446,337	事務事業評価					約半数の準用河川は断面容量不足であり、近年のゲリラ豪雨や大型台風による被害発生など整備の必要性は非常に高くなっている。	準用河川台帳からの整備優先度確認及び整理検討を行った。 水害防止対策として普通河川1河川の改修を推進。	主要地方道との交差河川について愛知県整備に連動して整備を進めるとともに、治水・防災対策としての河川改良を計画し事業推進する。なお、河川・水路整備方針の確立を早急に進め計画的な整備に取り組む。				
	40302010		41,740,400	1	都市建設部 建設課										
	河川改良事業		7,705,937	2	村上 知成										
			31,605,824	3	極めて高い										
			24,130,500	4	高い										
7,475,324	5	普通	改善の効果	極めて高い											
22	港湾・河川・海岸の整備	大雨等による災害を未然に防ぐため、土水路及び断面不足の水路を新設及び改良することにより、排水機能の向上を図る。	45,461,396	事務事業評価					地域の要望を基に現場の状況を確信的な対策を講じる必要がある。	各地区の水害発生箇所について整備優先度確認及び整理検討を行った。 小規模施設整備を推進し3水路において排水機能の改善に努めた。	台風などによる過去の被害箇所や地域からの要望を検証し、緊急度及び必要性の高い水害防止対策を推進する。なお、河川・水路整備方針の確立を早急に進め計画的な整備に取り組む。				
	40302020		40,340,640	1	都市建設部 建設課										
	水路改良事業		5,120,756	2	村上 知成										
			69,749,103	3	極めて高い										
			63,011,520	4	高い										
6,737,583	5	普通	改善の効果	極めて高い											
23	港湾・河川・海岸の整備	洪水、高潮等による水害を防止するとともに、河川の流水機能の維持と河川環境の保全のために総合的な監視を行う。	2,699,359	事務事業評価					災害時に樋門操作を迅速に行う体制づくりが課題である。	樋門操作マニュアルを活用し、適切な管理体制、災害時に迅速な対応ができるよう努めた。	樋門操作については引き続き、職員と受託者との連携を密にし、災害時に迅速な対応ができるよう努める。				
	40303010		782,305	1	都市建設部 維持管理課										
	河川管理事務		1,917,054	2	中神 嘉彦										
			2,089,698	3	高い										
			1,107,195	4	高い										
982,503	5	普通	改善の効果	高い											
24	港湾・河川・海岸の整備	市管理河川及び排水路の護岸や法面等の修繕及び堆積した土砂の浚渫又は草刈り等を行い、災害を未然に防ぐとともに、河川環境の保全を図る。	35,616,968	事務事業評価					緊急的な、市の管理河川・水路等の修繕、浚渫、草刈を行うことにより、災害を未然に防ぎ、河川環境保全に努めている。	赤羽根校区からの要望により一部河川の草刈と伐採を行った。	今後、計画的に赤羽根地区の河川草刈を実施する。				
	40303020		28,610,906	1	都市建設部 維持管理課										
	河川維持事業		7,006,062	2	中神 嘉彦										
			25,481,726	3	高い										
			20,804,600	4	高い										
4,677,126	5	普通	改善の効果	高い											
25	港湾・河川・海岸の整備	市管理河川、水路の護岸等の修繕や堆積した土砂の浚渫、草刈等を行い、災害の未然防止及び河川環境の保全を図る。	20,916,718	事務事業評価					危険箇所の早期発見のため、地域住民からの情報提供に対する初動体制の強化と連絡パトロールの効率化が必要である。	市民及び各校区等からの要望やパトロールで発見した危険箇所について早期対応をし、河川環境の保全が図られた。これらの内容について、課内で共有し、対策等の進捗状況について可視化できた。	収集した危険箇所情報や修繕要望等の内容について、必要性を精査した上で優先順位を検討し、災害を未然に防止し、河川環境の保全を図るための施設改善を実施する。				
	40303040		14,374,320	1	渥美支所 地域課										
	河川維持事業(渥美支所)		6,542,398	2	鈴木 雅也										
			20,227,793	3	高い										
			17,039,514	4	高い										
3,188,279	5	普通	改善の効果	普通											

No	施策名		H30決算額(円)	事務事業評価		事務事業の現状・課題	令和元年度中に実施した課題解決や事務改善に向けた取組の成果	令和2年度以降の課題解決に向けた取組方針(今後3～5年程度をイメージ)
	事務事業コード	事務事業名		事務事業の目的	内 直接事業費			
			内 人件費	2 評価責任者氏名				
			R1決算額(円)	3 妥当性評価				
			内 直接事業費	4 有効性評価				
			内 人件費	5 効率性評価				
26	港湾・河川・海岸の整備		8,173,761	事務事業評価		災害時に樋門操作を迅速に行なう体制づくりが課題である。また、赤羽根ロコパークの利用者が快適に利用できるよう適正な維持管理が必要である。	令和元年度中に実施した課題解決や事務改善に向けた取組の成果	令和2年度以降の課題解決に向けた取組方針(今後3～5年程度をイメージ)
	40304010		3,852,737	1 都市建設部 維持管理課	樋門操作マニュアルを活用し、適切な管理体制、災害時に迅速な対応ができるよう努めた。また、赤羽根ロコパークについては、市会計年度任用職員とシルバー人材センターで作業範囲を調整しながら行うことでコスト削減に努めた。			
	海岸管理事業		4,321,024	2 中神 嘉彦				
			7,397,841	3 高い				
			4,530,966	4 高い				
2,866,875			5 普通					
改善の効果		高い						
27	市街地の整備		19,056,836	事務事業評価		平成28年3月策定の田原市都市計画マスタープランに挙げられた事業について、実施の検討を継続的に行う必要がある。	田原赤羽根地区(土地区画整理事業施行箇所)の用途地域の変更及び地区計画の決定を行った。 立地適正化計画を策定し、居住誘導区域、都市機能誘導区域、誘導施設を公表した。	サーフタウン構想に位置付けられた住宅開発にかかる市街化調整区域内地区計画の検討を行う。 新規市街地拡大候補(田原天白地区、古田地区)の土地利用について検討していく。
	40401010		9,172,721	1 都市建設部 街づくり推進課				
	都市計画推進事業		9,884,115	2 小久保 智宏				
			13,555,463	3 極めて高い				
			4,678,052	4 高い				
8,877,411			5 普通					
改善の効果		高い						
28	市街地の整備		928,920,722	事務事業評価		田原市中心市街地活性化基本計画に基づき、平成28年度から5か年計画で市街地整備等事業に取り組んでいる。 田原市街地の魅力の向上及び活性化を図るため、各事業を効果的・効率的に実施していく必要がある。	社会資本整備総合交付金を活用し市民との協働により歴史ウォーキングトレイルの整備が進捗した。	令和2年度までは引き続き交付金の活用により、中心市街地活性化基本計画該当事業を推進し、計画期間終了後も地域と協働しながら必要に応じ活性化に寄与する事業の推進を図っていく。
	40402010		914,887,757	1 都市建設部 街づくり推進課				
	田原地区まちづくり事業		14,032,965	2 小久保 智宏				
			92,706,761	3 高い				
			80,044,909	4 高い				
12,661,852			5 普通					
改善の効果		高い						
29	市街地の整備		8,344,228	事務事業評価		赤羽根地区まちづくりビジョンの実現に向け、赤羽根地区まちづくり推進委員会が主体となってまちづくり事業を進めている。 まちづくり活動を発展させるため、活動を担う人材の発掘、育成が必要である。	赤羽根地区まちづくり推進委員会が3部会に分かれて、公園遊具のあり方の検討や、眺望スポットの整備等に取り組んだ。	赤羽根地区まちづくりビジョンの実現に向け、まちづくり活動を担う人材の発掘、育成を支援する。
	40402020		753,840	1 都市建設部 街づくり推進課				
	赤羽根地区まちづくり事業		7,590,388	2 小久保 智宏				
			11,756,383	3 高い				
			4,094,230	4 高い				
7,662,153			5 普通					
改善の効果		普通						
30	市街地の整備		60,724,402	事務事業評価		平成30年度で終了した福江・清田地区の都市再生整備計画事業で実施したハード整備を、まちづくりに活用していく必要がある。 ショップレイ周辺整備について、地域住民の意見等を踏まえながら構想案を取りまとめる必要がある。	まちづくりの発展を目指すための方策を含めた事後評価シートを作成し公表した。 ショップレイ周辺整備について、ワークショップ等により、地域住民と協働で、3つの構想素案として取りまとめた。	清田・福江校区まちづくり推進協議会のまちづくり活動及び人材発掘、育成を支援する。 ショップレイ周辺整備について、取りまとめた3つの構想素案を基に、実施主体となりうる候補者を踏まえながら実施手法を合わせて検討し、構想案として一つに取りまとめる。
	40402030		49,875,343	1 都市建設部 街づくり推進課				
	福江地区まちづくり事業		10,849,059	2 小久保 智宏				
			13,230,734	3 高い				
			6,719,625	4 高い				
6,511,109			5 普通					
改善の効果		普通						

No	施策名	事務事業の目的	H30決算額(円)	事務事業評価		事務事業の現状・課題	令和元年度中に実施した課題解決や事務改善に向けた取組の成果	令和2年度以降の課題解決に向けた取組方針(今後3~5年程度をイメージ)
	事務事業コード		内 直接事業費	1 担当部課名				
	事務事業名		R1決算額(円)	2 評価責任者氏名	3 妥当性評価			
			内 直接事業費	4 有効性評価	5 効率性評価			
			内 人件費					
31	市街地の整備	赤羽根町地内で進められている田原赤羽根土地区画整理事業について、市民協働によるまちづくりの理念の下、施行者の田原赤羽根土地区画整理組合に対し、運営指導、事業支援を行うとともに、関連道路・河川・調整池・地区内公園等の整備を行う。	0	事務事業評価		・平成30年に組合が認可・設立された田原赤羽根土地区画整理組合の支援や関連事業として市が行う赤羽根地区都市再生整備計画事業の内容を着実に実施する必要がある。	・土地区画整理組合への助成金の交付や組合の運営支援、また区画整理事業に関連した準用河川新笹川の改良工事等を行うことで、事業全体の進捗が図られた。	・事業計画どおりに組合が解散できるよう引き続き組合や地域等と連携を密にし、各種支援や関連事業の推進を図っていく。
	40403010		0	1 都市建設部 街づくり推進課	1 担当部課名			
	赤羽根地区土地区画整理事業		0	2 小久保 智宏	2 評価責任者氏名			
			83,753,990	3 高い	3 妥当性評価			
			64,117,800	4 高い	4 有効性評価			
	19,636,190	5 普通	5 効率性評価					
							改善の効果	高い
32	市街地の整備	市民協働による市街化区域の都市基盤の形成を行うにあたり、総合的かつ面的に整備する手法である土地区画整理事業を促進するため、田原市組合施行土地区画整理事業助成方針に基づき、現在施行中の浦片地区の健全な組合運営、計画中の地区の組合設立準備に対し支援を行う。	21,533,006	事務事業評価		・浦片地区の保留地は、住宅用地は平成27年度に売却し、企業用地は11区画中残り6区画となっている。組合の解散に向けて企業用地の売却が課題である。 ・田原天白地区での土地区画整理事業推進のため、事業地の検討を行う必要がある。	・企業立地推進室が行う企業誘致活動での企業用地のPR活動や組合役員との不動産業者訪問等の営業活動を行った結果、1区画の販売内定に繋がった。 ・田原天白地区の事業調査業務を行い、事業候補地を選定した。	・浦片地区は、引き続き情報の収集・発信を行い、市企業立地担当及び組合役員とともに積極的に企業誘致活動を行っていく。 ・田原天白地区での土地区画整理事業は、事業候補地を精査し、庁内や地元との調整を行っていく。
	40403030		532,357	1 都市建設部 街づくり推進課	1 担当部課名			
	土地区画整理組合支援事業		21,000,649	2 小久保 智宏	2 評価責任者氏名			
			10,306,914	3 高い	3 妥当性評価			
			3,857,671	4 高い	4 有効性評価			
	6,449,243	5 普通	5 効率性評価					
							改善の効果	高い
33	地域・住環境の整備	農村の総合的な振興を図るため、農業生産基盤の整備を行う。また、これと関連をもつ農村の基礎的な生活環境の整備を総合的に実施し、活力と個性のある地域づくりを目指すため、道路、排水路、防災施設及び自然環境・生態系保全施設整備等を行う。	68,443,788	事務事業評価		整備対象地区の農業生活基盤を総合的に整備し、農業者及び農村居住者が住みよい居住環境への改善を図る。	大草・高松地区、東部地区において、農道、集落道、農業排水路の整備工事を実施し、地域住民の安心安全、快適な生活環境を確保した。	農地耕作条件改善事業交付金及び農山漁村地域整備交付金の活用により、農村振興総合整備事業の推進を図る。
	40501010		53,895,780	1 産業振興部 農政課	1 担当部課名			
	農村振興総合整備事業(40501010,40501014)		14,548,008	2 河邊 俊和	2 評価責任者氏名			
			74,155,700	3 普通	3 妥当性評価			
			52,566,882	4 普通	4 有効性評価			
	21,588,818	5 普通	5 効率性評価					
							改善の効果	高い
34	地域・住環境の整備	田原市東部太平洋岸総合整備促進協議会の事業運営を支援し、海岸侵食対策、自然環境の保全と活用、農地の基盤整備、農村環境の改善などについて関係地域の総合的な課題解決を図る。	4,390,194	事務事業評価		・啓発事業として「表浜自然ふれあいフェスティバル」の開催、情報誌「潮騒」の発行を支援している。 ・また、愛知県への要望活動など、海岸浸食の防止に努めている。 ・より効果のある啓発方法や要望活動などを展開する必要がある。	・表浜フェスティバルが身近に感じられる様に、H29年から「東中ソーラン」を実施、R1年からはクイズ王大会等を実施した。 ・より効果の高い要望活動とするため、田原市西部表浜地域環境整備協議会と連携した要望活動を実施した。	・表浜自然ふれあいフェスティバルを含め、市民へ一層効果のある啓発方法について検討する。 ・アクションプランに沿って、東部太平洋岸地域のつながりを深め、協議会と行政が一体となり継続して県への要望活動を行い海岸環境の整備促進を図る。
	40502010		450,000	1 企画部 企画課	1 担当部課名			
	東部太平洋岸総合整備促進事業		3,940,194	2 大羽 浩和	2 評価責任者氏名			
			4,771,667	3 高い	3 妥当性評価			
			400,000	4 高い	4 有効性評価			
	4,371,667	5 普通	5 効率性評価					
							改善の効果	高い
35	地域・住環境の整備	少子高齢化・人口減少社会に対応した居住環境の整備を図るため、公的宅地の供給を行うことにより市内への定住を誘導し、安全で住みやすいまちづくりを推進する。空き家対策事業に空き家対策事務を移管した。	26,447,905	事務事業評価		公的宅地であるシーサイド田原光崎の分譲について新聞折込広告、ティーズの広告を利用して宣伝している。 年に1区画程度売買取引がある。年度末での管理区画はシーサイド田原光崎で11区画となり、除草等土地の管理に費用がかかる。	広報たはら、新聞折込広告、ティーズの広告等を利用して宣伝した。 委託だけに頼らず、直接職員が除草等管理を行うことで費用を軽減した。	効果的な宣伝方法の検討を行い、分譲促進するように努める。 田原市定住・移住促進奨励金制度及びサーフタウン構想をこの事業に統合することで若者・子育て世代の移住者の増加を目指す。
	40503010		6,749,733	1 都市建設部 建築課	1 担当部課名			
	居住環境整備推進事業		19,698,172	2 石原 恭次	2 評価責任者氏名			
			13,880,755	3 普通	3 妥当性評価			
			775,476	4 普通	4 有効性評価			
	13,105,279	5 普通	5 効率性評価					
							改善の効果	普通

No	施策名	事務事業の目的	H30決算額(円)	事務事業評価					事務事業の現状・課題	令和元年度中に実施した課題解決や事務改善に向けた取組の成果	令和2年度以降の課題解決に向けた取組方針(今後3～5年程度をイメージ)				
	事務事業コード		内 直接事業費	1	担当部課名	内 人件費	2	評価責任者氏名				R1決算額(円)	3	妥当性評価	内 直接事業費
36	地域・住環境の整備	・住宅に困窮する低額所得者に対して低廉な市営住宅を供給することにより、市民生活の安定と社会福祉の増進に寄与する。 ・特定公共賃貸住宅、若者向け住宅等良質な賃貸住宅を求める中堅所得者層に住宅の供給を図り、市民生活の向上を図る。 ・現に市営住宅に入居している市民の居住の安定と居住水準の向上を図る。	161,873,047	事務事業評価					田原市公営住宅等長寿命化計画に沿って、既存公営住宅等の改修を計画的に実施しているが、老朽化により住宅設備等の細かな修繕が多発しており、今後の対応を検討する必要がある。 家賃滞納については、常習者の期限内納付意識が低く、減少傾向には至っていない。	西前田住宅の屋上防水改修等、計画的な修繕を実施した。政策空家としていた高木住宅は全部解体に着手した。 家賃滞納者には、督促状通知、戸別訪問、電話、文書による催告等を実施し、滞納改善指導に努め、債権回収専門の弁護士への委託を検討した。	改訂した長寿命化計画に基づき施設の計画的な管理、改修を行うと共に、設備等の修繕を計画的に行う。 家賃滞納者に対しては、債権管理条例等に基づき適切な対応を実施するとともに債権回収専門の弁護士に委託する。 令和2年度に住生活基本計画の中間見直しを行う。				
	40503020		129,655,833	1	都市建設部 建築課	32,217,214	2	石原 恭次							
	市営住宅管理事業		146,801,832	3	極めて高い										
			118,942,415	4	高い										
			27,859,417	5	高い										
改善の効果		普通													
37	地域・住環境の整備	空家等対策の推進に関する特別措置法、田原市空家等の適正管理に関する条例、田原市空家等対策計画に基づき、空き家関連施策を推進することにより、市民の良好な生活環境の確保、定住人口の誘導を行う。居住環境整備推進事業の空き家対策事務が移管された。		事務事業評価					平成29年度の空き家実態調査により491件の空き家を把握しているが、今後も急速に増加するものと予測される。不良住宅の解体のほか、空き家の有効活用を図る必要がある。	空き家解体補助制度を創設し、不良住宅の解消と跡地の有効活用を図った。 解体補助20件。	令和2年度から解体補助制度の見直しを行い、不良住宅に該当しない旧耐震基準空き家の解体も支援し、安全性の低い空き家の解消と跡地の有効活用を図っている。 また、空き家の片付け費補助、手続費補助を創設し、空き家バンク登録物件数を増加させ、住宅ストックとして空き家の有効活用を図っている。				
	40503060			1	都市建設部 建築課										
	空き家対策事業		22,636,248	3	極めて高い										
			11,509,455	4	高い										
			11,126,793	5	高い										
改善の効果		高い													
38	地域・住環境の整備	田原市人にやさしい街づくり推進計画に沿い、高齢者及び障害者を含む全ての人にやさしい、バリアフリーの街づくりを推進することにより、高齢化社会の安心・安全なまちづくりを目指す。	4,612,378	事務事業評価					公共建築物のバリアフリー化は、概ね整備されている。公共施設等を結ぶ視覚障害者誘導表示の整備はまだ不足している。	中心市街地で、人にやさしい道ネットワーク整備工事に着手し田原高松線や神戸蔵王線など約2,000mに視覚障害者誘導表示の設置を行った。	中心市街地活性化基本計画のバリアフリー化推進事業により、令和2年度に道路の視覚障害者誘導表示の設置を完了する。				
	40504010		207,389	1	都市建設部 建築課										
	バリアフリー化推進事業		4,404,989	2	石原 恭次										
			28,710,622	3	普通										
			24,949,837	4	普通										
3,760,785	5	普通													
改善の効果		普通													
39	上下水道の整備	給水装置の新設及び改良に伴う配水管の新設及び改良工事の施工に対し、材料を支給することにより水道施設の充実を図る。	13,126,483	事務事業評価					水道新規加入等に伴い、配水管工事を必要とする場合には、本管材料を支給し、水道施設の充実を図る。	水道施設の充実を図るため水道新規加入者等が行う配水管工事に対し材料支給を実施した。	水道施設の充実を図るため、今後も本管材料の支給を行う。				
	40601010		3,373,137	1	上下水道部 水道課										
	水道整備推進事業		9,753,346	2	伊與田 広美										
			12,525,072	3	高い										
			2,718,488	4	高い										
9,806,584	5	普通													
改善の効果		普通													
40	上下水道の整備	水道施設の維持、管理により安心、安全な水道水を安定的に供給する。	728,615,455	事務事業評価					水道施設の保守点検管理、水質検査を実施して、安全な水の安定供給を行う。 施設管理等の効率化を図るとともに、漏水に対して早期発見、修繕を行い有収率の向上を図る。	配水管等の漏水調査を実施し、漏水箇所の修繕を実施した。	施設管理等の一部業務委託を行うとともに、老朽管の改修・漏水調査の実施・漏水管の早期改修を実施し、有収率向上に向けた事業に引き続き取り組んでいく。				
	40601020		714,424,832	1	上下水道部 水道課										
	水道施設管理事業(40601020,40601050)		14,190,623	2	伊與田 広美										
			724,714,681	3	極めて高い										
			709,036,976	4	高い										
15,677,705	5	普通													
改善の効果		高い													

No	施策名	事務事業の目的	H30決算額(円)	事務事業評価					事務事業の現状・課題	令和元年度中に実施した課題解決や事務改善に向けた取組の成果	令和2年度以降の課題解決に向けた取組方針(今後3~5年程度をイメージ)				
	事務事業コード		内 直接事業費	1	担当部課名	内 人件費	2	評価責任者氏名				R1決算額(円)	3	妥当性評価	内 直接事業費
41	上下水道の整備	公共的団体が行う新設の配水管整備において、負担金を受けて市が施工することによって、施設の信頼性を高め適正管理につなげる。	30,027,283	事務事業評価					臨海企業団地や宅地造成事業区域等での配水管整備を図るとともに、計画に対する連絡調整を行う。	次年度以降の施工箇所について、関係機関との連絡調整を実施した。	新規事業等に対して関係機関との連絡調整等を引き続き行う。				
	40601030		29,052,000	1	上下水道部 水道課	975,283	2	伊與田 広美							
	配水管敷設整備事業		1,020,467	3	高い	0	4	高い							
			1,020,467	5	普通										
42	上下水道の整備	安心、安全な水道水を安定的に供給するため、老朽管等の更新を図る。	931,565,191	事務事業評価					水道事業基本計画に従い基幹管路の耐震化及び施設、老朽管の更新を図るとともに、公共下水道事業等の工事に併せて配水管の整備更新を図る。	水道事業基本計画に従い基幹管路の耐震化及び老朽管の更新を行うとともに、道路整備事業との同時施工による工事の効率化及びコストの削減を実施した。	引き続き工事の効率化やコストの削減を図るとともに、水道事業基本計画を基に、施設の耐震化・更新・改良・統廃合等を進め、更新管路についても耐震化、ダウンサイジングを図りつつ、地区及び市全域での管路の整備を進める。				
	40601040		920,036,357	1	上下水道部 水道課	11,528,834	2	伊與田 広美							
	配水管改良整備事業		952,667,833	3	高い	937,711,397	4	高い							
			14,956,436	5	普通										
43	上下水道の整備	緊急水源井戸の保守点検及び水質検査等施設の維持管理を行い異常湧水時の飲料水確保及び地震等災害時の家庭用雑用水確保を図る。	3,764,221	事務事業評価					・非常時における飲料水等確保のため、緊急水源の維持管理を行う。 ・湧水時等における速やかな緊急対応の実施を図る。	適正な維持管理を行うとともに、湧水時において緊急水源として活用できるように施設の整備点検等を行った。また、取水ポンプ取替工事(1か所)を行った。	引き続き適正な維持管理を実施していく。				
	40601060		1,478,800	1	上下水道部 水道課	2,285,421	2	伊與田 広美							
	緊急水源井戸維持管理事業		6,876,088	3	高い	4,631,061	4	高い							
			2,245,027	5	普通										
44	上下水道の整備	地震等による災害時の家庭用雑用水確保のため、新たに緊急水源井戸を整備する。	1,425,798	事務事業評価					・地震等による災害時の家庭用雑用水確保のため、新たに緊急水源井戸を整備するもので、現在田原町地内で1か所の整備を行う計画を進めている。	緊急水源として新たな井戸を確保するための用地を取得し、実施設計を行った。	早急に利用ができるよう整備を進める。				
	40601070		743,100	1	上下水道部 水道課	682,698	2	伊與田 広美							
	緊急水源井戸整備事業		5,348,000	3	高い	4,633,673	4	普通							
			714,327	5	普通										
45	上下水道の整備	事業運営に必要な費用を水道利用者から徴収し、水道事業の安定経営を図る。	74,152,177	事務事業評価					給水人口や使用量の減少、老朽化した設備更新など事業運営が厳しくなる中、収納率の向上及び業務の効率化を図る。	滞納者の常習化を防ぐ対策として、給水停止前に電話催告等を実施した。また、給水停止までのサイクルを見直し、業務の効率化及び収納率の向上を図った。	業務の民間委託等を検討するなど業務の効率化に取り組む。				
	40602010		36,448,944	1	上下水道部 水道課	37,703,233	2	伊與田 広美							
	水道経営事務		72,604,746	3	高い	34,921,508	4	高い							
			37,683,238	5	高い										

No	施策名	事務事業の目的	H30決算額(円)	事務事業評価		事務事業の現状・課題	令和元年度中に実施した課題解決や事務改善に向けた取組の成果		令和2年度以降の課題解決に向けた取組方針(今後3~5年程度をイメージ)
	事務事業コード		内 直接事業費	1 担当部課名					
事務事業名		R1決算額(円)	内 人件費	2 評価責任者氏名					
			内 直接事業費	3 妥当性評価					
			内 人件費	4 有効性評価					
				5 効率性評価					
46	上下水道の整備	安定した水道水確保のため、水道料金の一部を活用して水源林の保全を図る。	7,377,290	事務事業評価		水源林の必要性について啓発、森林づくり、間伐事業の推進を図る。	森林づくり事業、間伐事業を実施する豊川水源基金に負担金を拠出し、良好な水源林の確保を図った。		負担金を拠出し、良好な水源林の確保を図る。
	40602020		7,377,290	1 上下水道部 水道課					
	水源林保全流域協働事業		0	2 伊與田 広美					
			7,309,415	3 極めて高い					
			7,309,415	4 高い					
	0	5 高い							
		改善の効果		普通					
47	上下水道の整備	市街地等の住環境の整備とともに公共用水域の水質改善を図るため、下水道施設整備区域の拡大等を図る。	158,374,092	事務事業評価		・老朽化に伴う処理場の高度処理化、更新(長寿命化)、また、地震対策(耐震化)及び津波対策を図る必要がある。 ・新規加入者に対しての公共ます設置	・田原浄化センターの更新(長寿命化)及び地震対策(耐震化)工事委託を行った。 ・新規加入者の申請に基づき公共ますを設置した。 ・赤羽根土地区画整理事業区域の設計業務を実施した。		・田原浄化センター、田原中継ポンプ場の耐震化及び津波対策を行う。 ・施設の共同化について検討を行う。 ・新規加入者の公共ます設置工事を実施する。
	40603030		148,215,200	1 上下水道部 下水道課					
	汚水処理施設整備事業		10,158,892	2 川口 容央					
			221,930,692	3 極めて高い					
			213,958,148	4 極めて高い					
	7,972,544	5 極めて高い							
		改善の効果		極めて高い					
48	上下水道の整備	市街地の雨水を排除し浸水被害の防止を図るため、雨水ポンプ場、雨水幹線、雨水貯留施設等の雨水施設の整備を行う。	219,439,109	事務事業評価		・施設の老朽化対策として、長寿命化計画によるポンプ場の改築・更新が必要である。 ・施設の地震対策(耐震化)が必要である。	・東部ポンプ場及び中部ポンプ場の施設の老朽化対策として、長寿命化対策工事委託を行った。 ・東部ポンプ場及び中部ポンプ場の施設の耐震化対策として、地震対策(耐震化)工事委託を行った。		・東大浜ポンプ場の長寿命化、地震対策(耐震化)を計画に基づき実施していく。
	40603080		217,310,840	1 上下水道部 下水道課					
	雨水排水施設整備事業		2,128,269	2 川口 容央					
			285,818,101	3 極めて高い					
			282,893,200	4 極めて高い					
	2,924,901	5 極めて高い							
		改善の効果		極めて高い					
49	上下水道の整備	公衆衛生の向上と水質保全を図るため、夕陽が浜汚水処理施設の維持管理を行う。	5,919,537	事務事業評価		施設の老朽化による機器の更新及び改良が必要である。	設備機器の計画的な維持管理を実施し、施設の機能を保持できた。		・機器等の老朽化が進んでいるため、計画的に修繕・工事等を行い、維持管理経費の削減を図る。また、施設の共同化について検討を行う。
	40604010		5,919,537	1 上下水道部 下水道課					
	夕陽が浜汚水処理施設維持管理事業		0	2 川口 容央					
			6,275,523	3 高い					
			6,035,459	4 高い					
	240,064	5 高い							
		改善の効果		高い					
50	上下水道の整備	公共下水道事業の適正かつ健全な運営を行う。	48,998,861	事務事業評価		負担金等や使用料の賦課徴収、排水設備の確認、決算統計、消費税申告等の経常的な業務を限られた人員で効率的に実施する必要がある。 また、人口減や施設の更新時期到来等に対応するため、下水道事業における経営状況の把握と適切な投資財政計画が必要となる。	地方公営企業法適用化移行支援業務を活用し、固定資産調査・評価、下水道台帳及び例規整備を実施するとともに公営企業会計システムを構築し、地方公営企業法の適用に向け準備を進めた。		地方公営企業法の適用により経営内容を明確化し、下水道事業経営の健全性を確保する。 接続推進を図る。 経営戦略を策定し計画的かつ持続可能な事業運営を図る。
	40604040		34,010,028	1 上下水道部 下水道課					
	公共下水道運営事業		14,988,833	2 川口 容央					
			30,127,591	3 高い					
			12,987,254	4 高い					
	17,140,337	5 普通							
		改善の効果		高い					

No	施策名		H30決算額(円)	事務事業評価		事務事業の現状・課題	令和元年度中に実施した課題解決や事務改善に向けた取組の成果	令和2年度以降の課題解決に向けた取組方針(今後3~5年程度をイメージ)		
	事務事業コード	事務事業名		事務事業の目的	内 直接事業費				1 担当部課名	
			R1決算額(円)	内 直接事業費	2 評価責任者氏名					
			内 人件費	3 妥当性評価	4 有効性評価					
			内 人件費	4 有効性評価	5 効率性評価					
51	上下水道の整備	雨水の適正な排除を行うため、雨水ポンプ場及び雨水排水路等の維持管理を行う。	29,867,940	事務事業評価		<ul style="list-style-type: none"> ・老朽化による施設の修繕及び改良が必要である。 ・計画的な改良により、機器の延命化を図り、施設の機能を維持していく必要がある。 ・降雨時の速やかな対応が必要である。 	設備機器の計画的な維持管理を実施し、施設の機能を保持できた。	<ul style="list-style-type: none"> ・老朽化が進む中、計画的な施設修繕が必要である。 また、機器の延命化を図り、施設の機能を維持し、適正な管理に努める。 ・機器の故障等による浸水被害を未然に防ぐ。 		
	40604060		22,543,000	1	上下水道部 下水道課				改善の効果	高い
	雨水排水施設維持管理事業		7,324,940	2	川口 容央					
			26,424,415	3	高い					
			20,835,362	4	高い					
5,589,053		5	高い							
52	上下水道の整備	生活環境の向上や公共用水域の水質保全を図るため、下水道施設の適正な維持管理を行う。	338,546,686	事務事業評価		恒久的、持続的に維持管理していく上で、事業目的を達成するには、多大な経費が必要であり、合わせて施設の劣化は年々進むため、維持管理・修繕にも経費がかかる。	<ul style="list-style-type: none"> ・設備機器の計画的な維持管理を実施し、施設の機能を保持できた。 ・包括的民間委託により、適切に管理された。 	包括的民間委託を引き続き活用し、受注者を適切に管理し、より適正な維持管理ができるように努める。		
	40604070		329,196,023	1	上下水道部 下水道課				改善の効果	高い
	汚水処理施設維持管理事業		9,350,663	2	川口 容央					
			279,982,199	3	高い					
			273,061,548	4	高い					
6,920,651		5	高い							
53	上下水道の整備	農村地域の住環境の整備とともに公共用水域の水質改善を図るため、市内農村地域の生活排水整備を計画的に行う。	26,671,960	事務事業評価		<ul style="list-style-type: none"> ・処理場の設備機器が老朽化しているため、順次機能強化事業により施設の更新を実施する。 ・新規加入者に対しての公共ます設置 	<ul style="list-style-type: none"> ・白谷地区の処理場を機能強化事業により施設の更新を行った。 ・県補助事業により新美処理場のフェンス取替工事を行った。 ・新規加入者の申請に基づき公共ますを設置した。 	<ul style="list-style-type: none"> ・農業集落排水施設の機能強化を図るため、機能診断調査を行い、その結果に基づき機能強化工事を行う。 ・農業集落排水施設の統合を図る。 ・新規加入者の公共ます設置工事を実施する。 		
	40605030		21,462,840	1	上下水道部 下水道課				改善の効果	高い
	農業集落排水施設整備事業		5,209,120	2	川口 容央					
			152,976,953	3	極めて高い					
			145,345,492	4	極めて高い					
7,631,461		5	極めて高い							
54	上下水道の整備	事業経営の安定化に向け、農業集落排水の接続を推進すること等により財源の確保を図り、農業集落排水事業の適正かつ健全な管理運営を行う。	73,619,994	事務事業評価		<ul style="list-style-type: none"> 分担金や使用料の賦課徴収、排水設備の確認、決算統計、消費税申告等の経常的な業務を限られた人員で効率的に実施する必要がある。 また、人口減や施設の更新時期到来等に対応するため、下水道事業における経営状況の把握と適切な投資財政計画が必要となる。 	<ul style="list-style-type: none"> 地方公営企業法適用化移行支援業務において固定資産調査・評価、下水道台帳及び規程整備を実施するとともに公営企業会計システムを構築し、地方公営企業法の適用に向け準備を進めた。 	<ul style="list-style-type: none"> 地方公営企業法の適用により経営内容を明確化し、下水道事業経営の健全性を確保する。 経営戦略を策定し計画的かつ持続可能な事業運営を図る。 接続率の低い地区を中心に接続推進を図る。 		
	40606030		58,660,702	1	上下水道部 下水道課				改善の効果	高い
	農業集落排水運営事業		14,959,292	2	川口 容央					
			23,653,682	3	高い					
			9,372,851	4	高い					
14,280,831		5	普通							
55	上下水道の整備	農業集落における生活環境の向上や農地及び公共用水域の水質保全を図るため、農業集落排水施設の適正な維持管理を行う。	344,366,587	事務事業評価		<ul style="list-style-type: none"> 施設及び機器の老朽化が進んでいるため、計画的な改良により延命化を図り、施設の機能を維持していく必要がある。 	施設維持管理については専門業者に委託し、適切に管理した。	不具合箇所リストなどを完備し、処理施設の計画的な維持修繕工事を行い、施設機能の延命化を図る。		
	40606040		333,566,875	1	上下水道部 下水道課				改善の効果	高い
	農業集落排水施設維持管理事業		10,799,712	2	川口 容央					
			259,350,966	3	高い					
			245,951,114	4	高い					
13,399,852		5	高い							

No	施策名	事務事業の目的	H30決算額(円)	事務事業評価		事務事業の現状・課題	令和元年度中に実施した課題解決や事務改善に向けた取組の成果	令和2年度以降の課題解決に向けた取組方針(今後3~5年程度をイメージ)
	事務事業コード		内 直接事業費	1 担当部課名				
	事務事業名		R1決算額(円)	2 評価責任者氏名	3 妥当性評価			
			内 直接事業費	4 有効性評価	5 効率性評価			
			内 人件費					
56	上下水道の整備	生活環境の保全及び公衆衛生の向上を図るため、便槽式トイレ及び仮設トイレの生し尿を収集する。し尿及び浄化槽汚泥の適正な処理を行うとともに施設の安全かつ適正な維持管理に努める。	66,774,016	事務事業評価		・し尿収集業務は市民生活に不可欠であるため、引き続き円滑に実施していく。 ・施設の老朽化や、し尿等の処理量の減少により安定的な処理が難しい状態となっている。	未水洗化世帯の減少により収集世帯等が点在しているが、収集作業を集約し効率化に努めた。また、処理機械・設備等の修繕や部品交換等を行い、安定的な処理を行った。	収集世帯の減少と農業等の仮設トイレの増加により点在化が進むことが予想されるが、収集業務の集約化に努める。 共同処理開始に伴う業務体制及びし尿処理施設の廃止に向けた準備を行う。
	40607010		31,291,742	1 上下水道部 下水道課				
	し尿収集処理運営事業		35,482,274	2 川口 容央				
			50,755,980	3 極めて高い				
			24,996,809	4 高い				
		25,759,171	5 高い			改善の効果	高い	
57	上下水道の整備	し尿処理施設は昭和41年に建設され供用開始から約50年が経過しており、老朽化が進み適正な処理ができなくなる恐れがあるため、衛生センターのし尿・浄化槽汚泥の処理を受入れるためのし尿処理施設の整備を行う。	50,743,716	事務事業評価		・衛生センターの老朽化が著しく、早急に新しい処理施設を整備する必要がある。 ・受入施設の整備については、周辺環境等に配慮し行う必要がある。	・公共下水道赤羽根浄化センターし尿等受入施設建設工事(土木・建築)を開始した。 ・地元住民を対象に説明会等を開催した。	・令和3年度中のし尿等の受入開始に向け、受入施設の建設、場内整備等の工事を計画どおり進める。 ・受入施設の新築に伴い、進入用道路の拡幅等周辺環境の整備を行う。 ・工事中は、周辺環境に影響が及ばないように十分に配慮し、地元住民に対し必要な情報は周知する。
	40607040		46,490,000	1 上下水道部 下水道課				
	し尿処理施設整備事業		4,253,716	2 川口 容央				
			71,084,070	3 極めて高い				
			57,691,450	4 高い				
		13,392,620	5 高い			改善の効果	高い	
58	自然環境の保全	市民と協働して地域の里山を保全するとともに、里山の保全に関する知識・技能を習得した人材の育成を図る。	730,047	事務事業評価		・「たはら里山の会」による里山保全スキルアップ研修会を毎月開催した。 ・里山保全活動団体の自立、人材育成が必要である。	・スキルアップ研修会の継続開催及び研修内容の充実を図った。 ・活動時に掲げるのぼり旗の作成、ボランティア連絡協議会への登録を実施し、会のPRを図った。	・「たはら里山の会」をPRし、会員の増加を目指す。 ・里山保全活動への支援を継続して行う。
	40701010		81,589	1 都市建設部 街づくり推進課				
	里山保全推進事業		648,458	2 小久保 智宏				
			841,327	3 普通				
			69,000	4 普通				
		772,327	5 普通			改善の効果	普通	
59	自然環境の保全	林道は、森林保全整備のために不可欠な道路であるとともに、昨今は地域住民が散策路として利用するなど地域に必要な道路となっている。 しかし、山中の道路は破損等が生じやすいため、常に適正で良好な状態を維持することを目的として、整備や補修等を行う。	2,627,877	事務事業評価		林道は森林保全整備等に必要道路であるが、山中の道路は破損等生じやすく、定期的な整備や補修が必要となっている。	林道(衣笠線・芦西浦線)の保安全管理のため、草刈等を委託し、維持管理を図った。 林道山田線の雨水等による洗掘による破損を改修し、維持管理を図った。	林道を保全するため、古い基準で整備された舗装部分を、順次補修していく必要がある。 林道の保存のための継続的な維持管理を実施する。
	40701020		1,191,194	1 産業振興部 農政課				
	林道整備事業		1,436,683	2 河邊 俊和				
			3,150,001	3 普通				
			1,692,973	4 普通				
		1,457,028	5 普通			改善の効果	高い	
60	自然環境の保全	本市の松林は、潮害防備、風害防備等多面的な機能を担っている。この松林を保全するため、松くい虫防除対策として薬剤空中散布及び伐倒駆除を実施するとともに、薬剤樹幹注入を行い松の抵抗性を高めることで保安林の再生や機能維持を図る。	24,379,221	事務事業評価		西の浜保安林は松くい虫の影響により失われつつある。 この保安林の持つ公益的機能(飛砂防備等)を維持し、農村環境及び農地の保全を図り、本市の農業を持続的なものとするため、松くい虫防除を継続して実施する必要がある。	国の補助金を活用し、松枯れの原因となるセンチユウを媒介する昆虫駆除事業を実施し、保安林の維持を図った。 また、被害木の伐倒により、媒介昆虫の駆除に努め、被害拡大を防いだ。	国の補助金を活用し、既存の事業と併せながら、計画的かつ効果的に防除事業を継続実施する。 被害木を迅速に伐倒処理し、松くい虫による被害の拡大が抑えられるよう努める。 樹幹注入事業は薬の効果の切れる(6年間)前に計画的に事業に取り組む必要がある。
	40701030		19,607,167	1 産業振興部 農政課				
	森林病虫害防除事業		4,772,054	2 河邊 俊和				
			26,287,402	3 高い				
			23,093,967	4 高い				
		3,193,435	5 高い			改善の効果	高い	

No	施策名		H30決算額(円)	事務事業評価		事務事業の現状・課題	令和元年度中に実施した課題解決や事務改善に向けた取組の成果	令和2年度以降の課題解決に向けた取組方針(今後3～5年程度をイメージ)
	事務事業コード	事務事業名		内 直接事業費	1 担当部課名			
事務事業の目的			内 人件費	2 評価責任者氏名				
			R1決算額(円)	3 妥当性評価				
			内 直接事業費	4 有効性評価				
			内 人件費	5 効率性評価				
61	自然環境の保全	東三河地域の森林は、田原市のみならず豊川流域市町村の大切な財産である。この財産を流域市町全体で保全することを目的として、東三河農林水産事務所管内の森林振興にかかる諸活動(事業、調査、研修等)を行う。また、松くい虫によって枯死した地域の松林を復元するため、抵抗性松を配布する。	5,445,659	事務事業評価	松くい虫等により失われた松林(保安林)等の早期再生と、現存する保安林の効果的な保全管理が必要である。	保安林の効果的な保全管理方法を模索するため、森林の植生調査を実施した。抵抗性松を確保し、地元と小学校の協力により、抵抗性松を児童の記念植樹として保安林の復元を図った。	継続的に抵抗性松を確保し、森林(保安林等)の早期復元に努める。松林の植生調査を実施し、健全な森林環境のより効果的な保全管理を実施する。	
	40701040		2,465,843	1 産業振興部 農政課				
	2,979,816		2 河邊 俊和					
	4,246,735		3 普通					
	2,185,584		4 普通					
		2,061,151	5 普通	改善の効果	高い			
62	自然環境の保全	動植物の保護及び生息調査を行うことにより、動植物の保全を図る。鳥獣の保護及び管理並びに狩猟の適正化を図り、もって生物の多様性の確保を図る。特定外来生物を駆除し、その生息域の拡大を防止し、生活環境と生物多様性の保全を図る。	19,535,842	事務事業評価	・アカウミガメの保護団体が行う保護・調査活動の支援。 ・田原市アルゼンチンアリ対策協議会への補助金を交付。(補助率10分の10) ・人員不足によりアカウミガメの調査活動が広域展開できない。 ・市民、行政が一体となってアルゼンチンアリの防除を実施しているが、根絶には至っていない。	・協議会によるアルゼンチンアリの一斉防除を実施し、生活環境被害の低減、生息域の拡大抑制等の効果が確認された。生息域内部の防除に加え、生息域外縁部の重点防除を行った。	・アカウミガメの調査・保護活動に対して継続的の支援を行う。 ・アルゼンチンアリの生息範囲縮小、根絶に向け、国立環境研究所の専門家によるアドバイスを取り入れ、愛知県と協力して防除を実施する。また、重点防除区域を設定し、生息区域の縮小化を図る。	
	40702010		12,314,722	1 市民環境部 環境政策課				
	7,221,120		2 伊藤 弘子					
	23,007,453		3 高い					
	12,618,558		4 高い					
		10,388,895	5 普通	改善の効果	普通			
63	緑と景観の保全	田原市の優れた景観を資産として生かし、美しい渥美半島を次世代に継承するため、景観施策を実施するとともに、渥美半島菜の花浪漫街道の普及・啓発等を行う。	3,290,780	事務事業評価	・景観施策の周知・普及・啓発を行っており、そのなかで、地域が取り組む景観に配慮したまちづくり活動に対する支援を行っている。 ・良好な景観形成及び戦略的に景観を活用したまちづくりを進めていくため、景観行政の方向性を整理していく必要がある。	・地域(田原中部地区等)が取り組む景観まちづくり活動に対する支援を行い、地域主体の景観形成に取り組んだ。 ・渥美半島菜の花浪漫街道事業の普及・啓発を行い、市内外への周知や、関係者間の景観に対する意識の共有に取り組んだ。	・継続して、景観まちづくり活動への支援に取り組む。 ・渥美半島菜の花浪漫街道の更なる普及・啓発に努める。 ・景観行政の方向性について整理を行っていく。	
	40801010		316,170	1 都市建設部 街づくり推進課				
	2,974,610		2 小久保 智宏					
	10,717,772		3 高い					
	2,809,806		4 高い					
		7,907,966	5 普通	改善の効果	高い			
64	緑と景観の保全	市民の緑化への関心を高めるとともに、市民との協働により市内の緑化を推進し、うるおいと活力のあるガーデンシティを目指す。	19,695,924	事務事業評価	・緑化推進委員会を中心とした市民緑花まつり実行委員会が主体となり、市民緑花まつりを開催した。 ・緑化推進委員会による花壇コンクール審査を実施した。 ・奨励花壇の登録は増加しているが、沿道花壇の登録が減少している。	・市民緑花まつりを5月4日(みどりの日)にサンテパルクたはらはで開催(5年目)し、来場者数が15,900人(前年比△1,300人)であった。 ・花壇登録制度の周知を図るためチラシを作成し、イベント等で配布・啓発を行った。	・市民緑花まつり実行委員会をイベントの運営主体として組織強化を図る。 ・持続可能な緑化推進の取り組みを検討し実践していく。	
	40802010		8,196,370	1 都市建設部 街づくり推進課				
	11,499,554		2 小久保 智宏					
	13,248,737		3 高い					
	7,909,974		4 高い					
		5,338,763	5 高い	改善の効果	高い			
65	緑と景観の保全	緑花センターにおいて奨励花壇、沿道花壇、公共花壇に植える花苗を生産し、うるおいと活力のあるガーデンシティを目指し、花いっぱい運動を展開する。	29,964,716	事務事業評価	・花苗の生産及び管理について、さらなる効果的な方法の検討が必要である。 ・奨励花壇等の管理者へ、ポット鉢及びトレー返却の周知を徹底する必要がある。 ・沿道花壇の除草等の管理方法の検討改善が必要である。	・奨励花壇等の管理者からのポット鉢及びトレーの返却が徹底された。 ・沿道花壇の除草等の管理方法を検討した。	・緑花センターの統廃合。 ・育苗に関する専門性を高め、花苗の質の向上、育苗コストの削減に取り組む。 ・沿道花壇の新たな管理方法を実践し検証する。	
	40802020		13,432,152	1 都市建設部 街づくり推進課				
	16,532,564		2 小久保 智宏					
	29,551,191		3 高い					
	13,104,215		4 高い					
		16,446,976	5 高い	改善の効果	普通			

No	施策名	事務事業の目的	H30決算額(円)	事務事業評価		事務事業の現状・課題	令和元年度中に実施した課題解決や事務改善に向けた取組の成果	令和2年度以降の課題解決に向けた取組方針 (今後3～5年程度をイメージ)
	事務事業コード		内 直接事業費	1 担当部課名				
	事務事業名		R1決算額(円)	2 評価責任者氏名	3 妥当性評価			
			内 直接事業費	4 有効性評価	5 効率性評価			
			内 人件費					
66	緑と景観の保全	市民のレクリエーション活動の場の確保、生活環境の保全、都市の安全性の向上及び良好な都市景観の形成などの観点により公園・緑地の整備を図る。	50,043,053	事務事業評価		・サーフタウン構想の動向や地域意見を踏まえ、弥八島海浜公園について整備計画を構築する必要がある。 ・生活環境の保全や良好な都市景観の保全等のため、公園・緑地の整備や管理を行う必要がある。	・弥八島海浜公園活用事業として、公募型プロポーザルを実施した(商工観光課)。 ・公園施設の適切な整備や維持管理を行った結果、利用者の利便向上が図られた。	・令和2年度に公募型プロポーザルにおける優先交渉者を決定し民間活用を進める。 ・公園施設を今後も有効利用していくため、施設の適切な更新を行っている。
	40803020		35,534,133	1 都市建設部 街づくり推進課				
	公園緑地整備事業 (40803010、40803020、40803030)		14,508,920	2 小久保 智宏				
			13,380,553	3 高い				
			4,251,058	4 高い				
		9,129,495	5 普通				改善の効果	普通
67	緑と景観の保全	滝頭公園の維持管理を委託し、民間の能力を活用することによる管理経費の削減と、利用者が安全で安心して楽しく利用できるように施設管理を行う。	22,488,323	事務事業評価		・利用者が安全かつ安心して利用できる公園にするため、適切な維持管理を行う必要がある。	・老朽化した施設の修繕及び定期的な除草・樹木の剪定作業等を行い、利用者の利便向上が図られた。	・利用者が安全かつ安心して利用できる公園を目指し、適切に維持管理を行う。 ・キャンプ場について、自主事業化等新たな方法へ転換できないか検討する。 ・指定管理料の削減を図る。
	40804010		20,874,146	1 都市建設部 街づくり推進課				
	滝頭公園管理事業		1,614,177	2 小久保 智宏				
			21,071,080	3 高い				
			20,148,580	4 高い				
		922,500	5 高い			改善の効果	普通	
68	緑と景観の保全	白谷海浜公園の維持管理を委託し、民間の能力を活用することによる管理経費の削減と、利用者が安全で安心して楽しく利用できるように施設管理を行う。	22,480,101	事務事業評価		・利用者が安全かつ安心して利用できる公園にするため、適切な維持管理を行う必要がある。	・老朽化した施設の修繕及び定期的な除草・樹木の剪定作業等を行い、利用者の利便向上が図られた。	・利用者が安全かつ安心して利用できる公園を目指し、適切な維持管理を行う。 ・潮の影響による施設の劣化への対策を検討する。 ・指定管理料の削減を図る。
	40804020		20,865,924	1 都市建設部 街づくり推進課				
	白谷海浜公園管理事業		1,614,177	2 小久保 智宏				
			22,112,923	3 高い				
			20,881,338	4 高い				
		1,231,585	5 高い			改善の効果	普通	
69	緑と景観の保全	緑が浜公園及び緑が浜2号緑地の維持管理を委託し、民間の能力を活用することによる管理経費の削減と、利用者が安全で安心して楽しく利用できるように施設管理を行う。	18,706,415	事務事業評価		・利用者が安全かつ安心して利用できる公園にするため、適切な維持管理を行う必要がある。	・老朽化した施設の修繕及び定期的な除草・樹木の剪定作業等を行い、利用者の利便向上が図られた。	・利用者が安全かつ安心して利用できる公園を目指し、適切な維持管理を行う。 ・指定管理料の削減を図る。
	40804030		11,286,583	1 都市建設部 街づくり推進課				
	緑が浜公園管理事業		7,419,832	2 小久保 智宏				
			10,943,395	3 高い				
			10,020,895	4 高い				
		922,500	5 高い			改善の効果	普通	
70	緑と景観の保全	公園、緑地、緑道等について、樹木の管理、除草、トイレ清掃等を行い、利用者が安全で安心して利用できる施設管理を行う。	62,007,695	事務事業評価		利用者が安全に安心して利用できる公園、緑地等となるよう維持管理が必要であるが、遊具やベンチなどの設備の劣化が増加しており、修繕等の迅速な対応が課題である。	定期的な除草、剪定、トイレ清掃を実施し、利用者が安心して利用することができた。	除草や剪定の回数や場所を検討し、より効率的に作業が行えるよう会計年度任用職員を適正に配置する。公園等の所管課と連携し、設備等の修繕を計画的に実施する。
	40804050		48,024,419	1 都市建設部 維持管理課				
	都市公園等管理事業		13,983,276	2 中神 嘉彦				
			69,251,725	3 高い				
			43,730,288	4 高い				
		25,521,437	5 普通			改善の効果	普通	

No	施策名	事務事業の目的	H30決算額(円)	事務事業評価					事務事業の現状・課題	令和元年度中に実施した課題解決や事務改善に向けた取組の成果	令和2年度以降の課題解決に向けた取組方針(今後3~5年程度をイメージ)				
	事務事業コード		内 直接事業費	1	担当部課名	内 人件費	2	評価責任者氏名				R1決算額(円)	3	妥当性評価	内 直接事業費
71	緑と景観の保全	市民の余暇活動等の推進を図る公園施設として、しょうぶ園をはじめ公園内の樹木管理、除草、施設の清掃等を行い、安全で楽しく利用できるよう施設の適正な管理を行う。	11,828,234	事務事業評価					PRIに努めているが、まだ知名度が低く、来園者数が少ない状況である。景観面においても改善する必要がある。	市ホームページで桜やしょうぶの開花状況の配信を随時行い、また、しょうぶの苗と合わせて、初立池カード(令和元年度初試み)を来園者へ配付しPRIに努めた。また、公園内の施設の整備を行い、適正な管理を行った。	今後も引き続き整備を進め、景観形成に努める。また、初立池カードの配付も継続して行い、初立池の知名度を高めるPRを行う。				
	40804060		7,758,557	1	渥美支所 地域課	4,069,677	2	鈴木 雅也							
	初立池公園管理事業		12,136,742	3	高い	7,751,043	4	高い							
			4,385,699	5	普通										
改善の効果	普通														
72	緑と景観の保全	臨海緑地の維持管理を委託し、民間の能力を活用することによる管理経費の削減と、利用者が安全で安心して楽しく利用できるように施設管理を行う。	34,506,764	事務事業評価					・緑地としての機能を保持するため、継続的な維持管理が必要である。	・定期的に緑地内の除草、樹木の剪定・消毒等を行い、利用者の利便向上が図られた。	・公害防止としての緩衝緑地の目的だけでなく、安全・安心で心にゆとりを与えるような緑地となるように、適切な維持管理を行う。				
	40804070		33,000,199	1	都市建設部 街づくり推進課	1,506,565	2	小久保 智宏							
	臨海緑地管理事業		33,756,800	3	高い	33,000,205	4	高い							
			756,595	5	高い										
改善の効果	普通														
73	緑と景観の保全	公園、緑地、緑道等の樹木管理、除草、トイレ清掃等を行い、利用者が安全で楽しく利用できるよう施設の適正な管理を行う。	14,674,054	事務事業評価					施設が老朽化しているため、来園者に危険のないよう適切に維持管理していく必要がある。	現場作業の嘱託員、臨時職員と作業後にミーティングを行い、反省点、翌日の予定等を確認し、効率的な作業計画をたて、適切な維持管理が実施できた。	施設の老朽化の状況を把握し、不具合箇所について早急に修繕等を実施し、公園利用者が安心安全で快適に利用できるように適切な維持管理を行う。				
	40804080		3,277,379	1	渥美支所 地域課	11,396,675	2	鈴木 雅也							
	都市公園等管理事業(渥美支所)		14,812,000	3	高い	3,625,018	4	高い							
			11,186,982	5	普通										
改善の効果	普通														
74	緑と景観の保全	児童に身近で安全な遊びの場を提供し、健康の増進や豊かな情操を養うとともに、乳幼児を持つ保護者相互の交流の場づくり(孤立化防止)として、児童遊園の適正な維持管理を行う。	2,726,632	事務事業評価					安全第一の観点により危険度の高い遊具から優先的に修繕、撤去を実施するとともに、地域との協働による地域管理委託を継続して管理コストの抑制に努める。	児童遊園の適正な維持管理を行うとともに、危険度の高い遊具の修繕をするなど施設整備を行い、遊園利用における児童の安全確保を図ることができた。	安全第一の観点により危険度の高い遊具から優先的に修繕、撤去を実施する。また、地域との協働による地域管理委託を継続して管理コストの抑制に努める。				
	40804090		1,736,212	1	健康福祉部 子育て支援課	990,420	2	青木 護							
	児童遊園管理事業		1,447,115	3	普通	801,468	4	普通							
			645,647	5	普通										
改善の効果	普通														
75	緑と景観の保全	谷ノ口公園の維持管理を委託し、民間の能力を活用することによる管理経費の削減と、利用者が安全で安心して楽しく利用できるように施設管理を行う。	8,265,043	事務事業評価					・利用者が安全かつ安心して利用できる公園にするため、適切な維持管理を行う必要がある。	・公園内の除草、樹木の剪定、施設の清掃・管理を行い、利用者の利便向上が図られた。	・利用者が安全かつ安心して利用できる公園を目指し、適切な維持管理を行う。 ・指定管理料の削減を図る。				
	40804100		6,758,478	1	都市建設部 街づくり推進課	1,506,565	2	小久保 智宏							
	谷ノ口公園管理事業		7,990,449	3	高い	6,758,864	4	高い							
			1,231,585	5	高い										
改善の効果	普通														